

## 関東地方会平成 27 年度事業報告

### I. 平成 27 年度総会・第 269 回例会・第 1 回拡大幹事会（拡大）

当番幹事：与五沢真吾（東京慈恵会医科大学）、開催期日：2015 年 5 月 9 日（土）

場所：東京慈恵会医科大学 1 号館 中央講堂（総会・例会）6 階講堂（幹事会）、参加人数：231 名

#### 【シンポジウム】

「多職種連携を通じた産業保健活動」座長：能川和浩（千葉大学大学院医学研究院環境労働衛生学）、与五沢真吾（東京慈恵会医科大学環境保健医学）

1. 産業医の立場から：「戦略的な産業保健活動の一例～人事・健康保険組合との連携から～」西植植規秀（ライオン株式会社・産業医）
2. 看護の立場から：「私のスキルアップと多職種連携について」大木麻里子（パナソニック健康保険組合・保健師）
3. メンタルヘルスの専門職の立場から：「産業保健職の連携と対応の質の向上をめざして～メンタルヘルス領域から～」小林由佳（本田技研工業株式会社・臨床心理士）
4. 栄養士の立場から：「健診機関における管理栄養士の取り組み」鶴田浩子（東京都予防医学協会・管理栄養士）
5. 理工系技術者の立場から：「理工系技術者の立場から考える多職種連携」吉江幸子（鉄道総合技術研究所・理工系技術者）
6. 歯科の立場から：「産業歯科保健を担う若手会員を増やすために」大山 篤（株式会社神戸製鋼所東京本社・歯科医）
7. 衛生管理者の立場から：「多職種連携を通して若手を増やすには～システムの構築～」飯田裕貴子（労働科学研究所・衛生工学衛生管理者）

#### 【教育講演 1】

「第 12 次労働災害防止計画－中間年を迎えて」角田 透（杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室）

#### 【教育講演 2】

「職場のストレスチェック－運用上の留意点」泉 陽子（厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課）

### II. 第 270 回例会（一泊）及び第 59 回見学会・第 2 回幹事会

当番幹事：松崎一葉（筑波大学医学医療系産業精神医学・宇宙医学グループ）

テーマ：発達障害特性とメンタルヘルス活動の実際、開催期日：2015 年 9 月 4 日（金）・5 日（土）

場所：筑波大学健康医科学イノベーション棟 8 階講堂（例会）1 階 105 号室（幹事会）

<9 月 4 日（金）（1 日目）>

【見学会】参加人数：67 名

場所：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（NARO）（茨城県つくば市）

①果樹研究所②畜産草地研究所③農村工学研究所

【例会・基調講演「メンタルヘルス対策」】参加人数 91 名

座長：柳澤裕之（東京慈恵会医科大学医学部）

「職場におけるイマドキの若手との付き合い方」斎藤 環（筑波大学医学医療系）

<9 月 5 日（土）（2 日目）>

【例会・講演会「職域における発達障害特性とヒューマンエラー」】参加人数：116 名

座長：松崎一葉（筑波大学医学医療系）

①「発達障害特性の理解と周囲の対応」宮本信也（筑波大学人間系）

②「ヒューマンエラーと発達障害」岡 耕平（滋慶医療科学大学院大学）

#### 【特別講演】

「改正労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度について」諸岡信裕（茨城県医師会副会長）

### III. 第 271 回例会・第 3 回幹事会

当番幹事：武林 亨（慶應義塾大学医学部）、開催期日：2015 年 12 月 12 日（土）

会場：慶應義塾大学信濃町キャンパス 北里講堂（例会）予防医学校舎 3 階 予防講堂（幹事会）、参加人数：156 名

#### 【プログラム】

1. 一般定期健康診断項目の見直しを巡って 座長：大久保靖司（東京大学環境安全本部）

- (1)「疾病予防の観点から～診療ガイドラインの精査および疫学文献レビューからみた健診項目の有用性」 岡村智教(慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学)
- (2)「適正配置の観点から～健診項目の活用に関する産業衛生専門医へのコンセンサス調査」 立道昌幸(東海大学医学部公衆衛生学)
- (3)「総合討論」 高山 啓(厚生労働省健康局がん対策・健康増進課)

## 2. 近未来の産業衛生分野の研究と実践

- (1)「派遣労働者の健康管理—現状・課題・展望—」  
コーディネータ・ファシリテータ：佐藤裕司(富士通(株)海外勤務者健康推進センター)  
演者：大崎陽平(ヘルスデザイン株式会社)
- (2)「研究・教育界における不安定雇用 非常勤講師の生活と健康」  
コーディネータ・ファシリテータ：井上まり子(帝京大学大学院公衆衛生学研究科)  
演者：鶴ヶ野しのぶ(電気通信大学保健管理センター)
- (3)「インジウム曝露濃度（環境濃度と生物学的モニタリング）から見えること」  
コーディネータ：中野真規子(慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学)  
ファシリテータ：橋本晴男(東京工業大学)  
演者1：宮内博幸(産業保健協会)  
演者2：衛藤憲人(東海大学工学部)
- (4)「産業医活動をしながらの研究活動」  
コーディネータ・ファシリテータ：島津明人(東京大学医学研究科)、江口 尚(北里大学医学部公衆衛生学)  
演者1：西浦千尋(東京ガス(株))、演者2：江口 尚(北里大学医学部公衆衛生学)
- (5)「産業看護職のキャリア形成—実践と研究の両立を目指したキャリア形成の体現」  
コーディネータ・ファシリテータ：中野愛子((株)日立製作所)  
演者1：下山満理((株)富士通システムズ)  
演者2：帆苺なおみ((株)サンデン)

## IV. 第272回例会・第4回幹事会

当番幹事：福本正勝(福祉プラザさくら川)、開催期日：2016年2月20日(土)

会場：東京慈恵会医科大学 1号館3階講堂(例会) 1号館5階講堂(幹事会)、参加人数：226名

### 【プログラム】ストレスチェックの実践

1. 「ストレスチェック総論」 西埜植規秀(にしのうえ産業医事務所)
2. 「ストレスチェックの事例より」 深澤健二(株アドバンテッジ)
3. 「ストレスチェック～法的側面から」 増田将史(イオン(株)グループ人事部 イオングループ総括産業医)
4. 質疑・討論「ストレスチェック実践のためのポイント」 西埜植規秀、深澤健二、増田将史他

## V. 関東産業医部会研修会

- ・第20回海外勤務者健康管理研修会(主催：海外勤務者健康管理全国協議会、共催：東京産業保健総合支援センター、日本産業衛生学会関東産業医部会)

開催日：2015年8月8日、場所：東京医科大学病院 6F 臨床講堂、参加者数：48名

基調講演「デング熱～世界の状況と感染予防策」高崎 智彦(国立感染症研究所ウイルス第一部第2室)、座長：濱田 篤郎(東京医科大学病院 渡航者医療センター)

シンポジウム「海外出張業務の内在リスクに関する裁判例の示唆について～失敗学から得られる予防措置～」三柴丈典(近畿大学 法学部)

追加発言「海外出張者の健康管理対策の現状」栗田 直(東京医科大学病院 渡航者医療センター)、座長：久保田 昌詞((独)労働者健康福祉機構 大阪労災病院治療就労両立支援センター)

- ・蒲田医師会産業医研修会(主催：蒲田医師会、共催：日本産業衛生学会関東産業医部会)

開催日：2015年11月26日、場所：株式会社JAL エンジニアリング 参加者：48名

内容「職場巡視の手法を身につける ～航空機機体整備上における労働・作業環境の見学」

JALエンジニアリング産業医 産業保健 内田俊彦先生

JALエンジニアリング安全衛生部マネージャー 富吉裕之先生

- ・第272回例会→IV.に記載

## VI. 関東産業看護部会研修会

- ・平成27年度関東産業看護部会研修会「実務に役立つストレスチェック制度スキルアップ講座」  
開催日：2015年10月17日、場所：東京工科大学蒲田キャンパス、参加者：23名  
「ストレスチェックの実施プログラムソフトの紹介と活用方法」門脇健太郎（総合健康推進財団）  
「ストレスチェック制度の概要と個人フォローについて」五十嵐千代（東京工科大学）  
「ストレスチェック制度と集団分析・職場環境改善について」吉川悦子（東京有明医療大学）  
「先駆的導入企業事例紹介」中野愛子（日立製作所）

## VII. 関東産業衛生技術部会研修会

- ・第36回関東産業衛生技術部会研修会「農薬用保護マスク研究会30周年記念講演」  
開催日：2015年8月5日、場所：十文字中学・高校講堂（1階多目的ホール）、参加者：150名  
「農薬散布作業における農薬曝露と対策」木村菊二（（公財）労働科学研究所）  
「農薬登録における農薬の使用時安全性評価の歴史」早川泰弘（（独）農林水産消費安全技術センター）  
「農薬散布時の労働衛生保護具の適正使用について」田中 茂（十文字学園女子大学大学院）
- ・第37回関東産業衛生技術部会研修会「『個人ばく露測定のガイドライン』と化学物質のリスクアセスメントへの活用」  
開催日：2015年10月9日、場所：慶應義塾大学医学部新教育研究棟4階講堂、参加者：40名  
「『個人ばく露測定のガイドライン』の概要とリスクアセスメントへの活用」橋本晴男（東京工業大学）  
「『個人ばく露測定ガイドライン』の詳細と特徴」山田憲一（中災防労働衛生調査分析センター）  
「個人ばく露測定と簡易測定のリスクアセスメントへの活用事例」中原浩彦（東燃ゼネラル石油株）
- ・第38回関東産業衛生技術部会研修会（共催：日本産業衛生学会産業栄養研究会）「食品機能成分と生活習慣病」  
開催日：2015年10月31日、場所：十文字学園女子大学8411教室、参加者：100名  
「生活習慣病促進要因としての亜鉛欠乏症」柳澤裕之（東京慈恵会医科大学医学部環境保健医学）  
「食品成分によるがん予防の可能性」与五沢真吾（東京慈恵会医科大学医学部環境保健医学）  
「時間栄養学を含めてポリフェノール等の機能性成分による生活習慣病予防について」小堀真珠子（農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所）  
「茶カテキン・クロロゲン酸の機能性と食生活研究」吉本弥生（花王（株）ヘルスケア食品研究所）

## VIII. 関東産業歯科保健部会

- ・平成27年度産業歯科保健部会後期・関東産業歯科保健部会合同研修会「企業特性にあわせた口腔保健活動の展開」  
開催日：2016年2月27日、場所：東京医科歯科大学7号館2階歯学科第3講義室、参加者：37名  
座長：森 智恵子（日立製作所京浜地区産業医療統括センタ）  
「総合病院に併設した健診センターでの継続した歯科健診から見えること」田中裕子（牧田総合病院歯科・口腔外科）  
「健康保険組合が取り組む予防歯科の展開」加藤 元（日本アイ・ビー・エム健康保険組合・予防歯科）  
「歯科健診機関の取り組み事例」小山圭子（日本口腔保健協会保健事業部）

## IX. 関東地方会ニュース編集委員会

- ・関東地方会ニュース第32号および第33号を発行した。

以上